

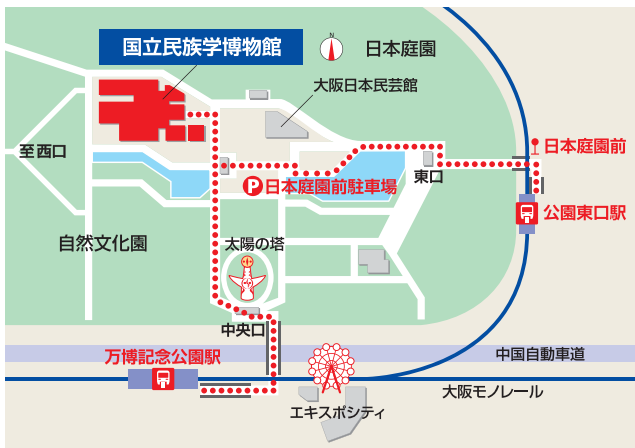
ご利用案内

開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日 水曜日(水曜日が祝日の場合は直後の平日が休館)
年未年始(12/28～1/4)

観覧料	本館展示	特別展「日本の仮面— 芸能と祭りの世界」※ 特別展「吟遊詩人の世界」※
一般	580(490)円	880(600)円
大学生	250(200)円	450(250)円
高校生以下	無料	無料

※本館展示もご覧になれます。

- ()は、20名以上の団体料金、大学等の授業でご利用の方、3か月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金(要証明書など)。
- 特別展「日本の仮面」および「吟遊詩人の世界」は20名以上の学校団体(大学)については、本館展示割引観覧料相当額(大学生200円)でご覧になれます。
- 障がい者手帳をお持ちの方は付添者1名とともに、無料で観覧できます。
- 大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園を無料で通行できます。
- 高校生以下の方、国立民族学博物館友の会会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんぱくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。
- 万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。



- 交通のご案内 ◎みんぱくは、大阪・万博記念公園内にあります。
- 大阪モノレール…「万博記念公園駅」「公園東口駅」下車徒歩約15分
 - バス…阪急茨木市駅・JR 茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
 - 乗用車…万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分
 - タクシー…万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

お問い合わせ先 TEL.06-6876-2151 FAX.06-6875-0401

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号 <https://www.minpaku.ac.jp>



この印刷物は、環境に配慮した用紙とインキを使用しています。

本館展示

国立民族学博物館(みんぱく)は、世界の人びとの暮らしや文化にふれることができる世界最大級の民族学博物館です。世界各地の衣食住に関わる生活用具や、儀礼や信仰に用いる道具などを展示しています。



アメリカ展示



西アジア展示



東南アジア展示



日本の文化展示

館内のご案内

探究ひろば 「リサーチデスク」「研究の現場から」「世界をさわる」の3つのコーナーをとおして、みんぱくの研究や展示をより詳しく知ることができます。

ビデオテーク・みんぱくシアター 世界の人びとの儀礼や芸能、生活の様子などを記録した番組を、大型スクリーンや少人数用のブースで視聴できます。

みんぱく電子ガイド 展示物をみながら、映像と音声による解説が視聴できる、携帯型の展示解説装置を無料で貸し出しています。

みんぱく図書室(本館3階) 文化人類学・民族学関係の文献図書資料を所蔵しています。どなたでもご利用いただけます。休室日:日曜日、祝日(土曜日を除く)、及びみんぱく休館日

ミュージアム・ショップ 世界各地の民芸品や文化人類学・民族学に関する書籍などを多彩に取り揃えています。TEL.06-6876-3112

森の洋食 グリルみんぱく 観覧の余韻に浸りながらゆっくりと本格的な洋食が楽しめます。営業時間 11:00～16:30(ラストオーダー 16:00) TEL.06-6310-0810



ミュージアム・ショップ



森の洋食 グリルみんぱく

国立民族学博物館友の会 家庭学術雑誌『季刊民族学』、友の会講演会、各種セミナーをとおして多様な文化に関する情報をお届けします。お問い合わせ先:公益財団法人千里文化財団 TEL.06-6877-8893

■みんぱくゼミナール 研究者が最新の研究成果をわかりやすく講演します 毎月第3土曜日13:30～15:00(開場13:00)

- 場所:みんぱくインテリジェントホール(講堂) ●無料
- 事前申込制/当日参加申込可 ※講師・演題・開催場所は都合により変更する場合があります

第544回 4・20± 特別展関連

日本の仮面

菅原亮二(本館 教授)
全国各地で演じられ、伝承されてきた芸能や祭りでは、実にさまざまな仮面が用いられてきました。そうした日本の仮面の多様性に富む全体像を、「仮面の歴史」「祭りや芸能の中の仮面」「仮面の諸相」「ヒーローと仮面」といった特別展の構成に即して紹介します。



第545回 5・18± 特別展関連

東南アジアの仮面

福岡正太(本館 教授)
東南アジアでは仮面を用いた芸能がさかんです。写真と映像により、みんぱくが所蔵する東南アジアの仮面を概観し、ジャワ島を例に仮面芸能とその芸能にたざさわらる人びとについて紹介します。



西ジャワの仮面舞踊(1995年)

第546回 6・15±

神楽とはなにか?— 語意に着目した機能論的分析の試み

鈴木昂太(本館 助教)
日本各地では「かぐら」と呼ばれる芸能が多様な形態で演じられています。本ゼミナールでは、なぜ「かぐら」という音に「神」と「楽」の字をあてたのかという問いから、芸能の特徴を分析していきます。



阿刀神楽「將軍舞」(2023年、広島県広島市)

第547回 7・20±

内戦の過ごし方— ソロモン諸島ガダルカナル島の人びとの紛争経験

藤井真一(本館 助教)
ソロモン諸島では20世紀末に「民族紛争」と呼ばれる内戦がありました。内戦の舞台となったガダルカナル島の人びとがどのように紛争を過ごしたのかを紹介しながら「平和」について考えます。



紛争中に放棄された集落跡(2014年)

第548回 8・17± 特別展関連

ネパールの「吟遊詩人」— 映像音響資料の当事者との共有

南真木人(本館 教授)
みんぱくが所蔵する過去の写真、映像、音源を当事者と共有する事業を進めています。特別展「吟遊詩人の世界」に先駆け、この事業の過程で明らかになった、ネパールの「吟遊詩人」ガンダルバについてお話しします。



ダン・バハードゥル・ガエク氏(2016年、ポカラ)

第549回 9・21± 特別展関連

世界を異化する歌と語り— エチオピアの吟遊詩人

川瀬 慈(本館 准教授)
エチオピアの地域社会で活動する吟遊詩人の歌は、近年エチオピアが経験した社会や政治の変動、及び庶民の心情を映し出す鏡です。これらの歌について私が撮影した映像とともに紹介します。



聴衆による即興詩を復唱する酒場の歌手(2022年)



みんなく創設 50周年記念 特別展 3・28木～6・11火

●特別展示館

日本の仮面 — 芸能と祭りの世界



なまはげの面 (秋田県)

国内各地では、仮面をつけた役が登場する芸能や祭りがおこなわれてきました。本展示では、仮面の役の登場が印象的な各地の芸能や祭りの様相を中心に、あわせて仮面の歴史、仮面と人間の関係などを紹介し、それらをつづじて仮面と人びとの多様なかわりについて考えます。



メンドンの面 (鹿児島県硫黄島)



道化面



荒神神楽の面 (鳥取県)



獅子頭 (佐賀県)

関連イベント

研究公演 4・14(日) 千本糸んま堂大念佛狂言民博公演

みんなくゼミナール 4・20(土) 日本の仮面
5・18(土) 東南アジアの仮面

ウィークエンド・サロン 4・21(日) 5・5(日) 5・26(日)

その他、映画会なども予定しています。

みんなく創設 50周年記念 特別展 9・19木～12・10火

●特別展示館

吟遊詩人の世界

各地を広範に移動し、詩歌を歌い語り、世界を異化する吟遊詩人は古代から各地に存在しさまざまな役割を担ってきました。本特別展ではアジア、アフリカの吟遊詩人のパフォーマンスやそれらを成立させる物質文化を紹介し、同時に吟遊詩人を支え育んできた地域社会の息吹を伝えます。



門付けをするラリベラ



マシンコを弾き語るアズマリ



門付けするガンダルバ

関連イベント

みんなくゼミナール 8・17(土) ネパールの「吟遊詩人」—映像音響資料の当事者との共有
9・21(土) 世界を異化する歌と語り—エチオピアの吟遊詩人

ウィークエンド・サロン 10・6(日) 10・20(日) 10・27(日)
11・3(日) 11・17(日) 11・24(日) 12・1(日)

その他、映画会なども予定しています。

2024

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

みんなく創設 50周年記念 企画展 3・14木～6・18火

●本館企画展示場

「水俣病を伝える」

熊本県の水俣・芦北地域では、水俣病の教訓を後世に伝えていく活動が熱心におこなわれています。どのような人びとが何をどのように伝えているのでしょうか、そしてその伝える情熱はどこからきているのでしょうか。本展示では、水俣病を伝える活動の具体的な内容を紹介しながら、こうした問題を考えていきます。



水俣病を語り継ぐ会による朗読会



水俣市茂道漁港での相思社まち案内

みんなく創設 50周年記念 企画展 9・5木～12・3火(予定)

●本館企画展示場

客家と日本〈仮〉

華僑華人の一系統である客家と日本の交流の歴史は一世紀半に及びます。本展示は、客家の活動をとおりて日本～中国大陸～台湾の関係史を描き出します。



台湾の客家居住地にある三合院



日本客家団体の年会における客家山歌の合唱



和歌山県新宮市の徐福公園にある徐福像

関連イベント

みんなくゼミナール 10・19(土) 客家建築の世界—日本との関係から〈仮〉

ウィークエンド・サロン 9・29(日) 11・10(日)

その他、映画会、ワークショップなども予定しています。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

— 特別展 — 企画展 □ 友の会講演会 ■ みんなくウィークエンド・サロン □ 休館日



水俣病歴史考証館



明神岬のアコウの樹と魂石

関連イベント

みんなくゼミナール 3・16(土) 水俣病を伝える

ウィークエンド・サロン 3・24(日) 4・28(日) 5・12(日)

ワークショップ 3・30(土) 水俣の海を感じる—語り部講話とシーグラス体験

その他、映画会なども予定しています。

みんなく創設 50周年記念 研究公演

●場所:みんなくインテリジェントホール(講堂)
●要事前申込(先着順) ●要展示観覧券

千本糸んま堂大念佛狂言民博公演

4・14日 13:30～16:15(開場13:00)

千本糸んま堂大念佛狂言は、平安時代末期の天台宗の融通念仏に由来し、その教えを人々へ普及するために始められた念仏狂言です。演者が面をつけて、仏教などに関する内容を狂言形式で平易に演じ、壬生狂言、嵯峨大念仏狂言とともに京都三大大念仏狂言に数えられます。本公演は、同狂言の念仏芸能、仮面芸能としての姿を紹介します。なお、特別展「日本の仮面—芸能と祭りの世界」では同狂言の面を展示する予定です。



千本糸んま堂大念佛狂言(京都府京都市)

アラン峠の向こうは… — 在日コリアン音楽のこれから〈仮〉

8・25日 14:00～16:30(開場13:30)

10年をへて再びみんなくにつどう3組の音楽家たち。3つの国のはざまに生きる彼らの音楽をとおりて在日コリアン音楽のこれからを見つめます。



「アラン峠を越えていく」(2014年)から

みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう

●日曜日開催 14:30～(30～60分) ※都合により予定を変更することがあります。

●場所:本館展示場ナビひろば他

●要展示観覧券 ●申込不要

みんなくの研究者が「みんなくの展示資料」「調査している地域(国)の最新情報」「現在取り組んでいる研究」について分かりやすくお話しします。



展示や催しの最新情報は、ホームページをご覧ください。

表紙:荒神神楽の面(鳥取県)